

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (新規)

提出区分		新規	整理番号	9	課題区分	C	令和6年(2024年)3月25日		
横断的な課題		2地域を支える産業のグレードアップ					上田地域振興局		
地域重点政策		2地域を支える産業のグレードアップ							
実施機関		上田地域振興局			担当課	所属	農業農村支援センター		
事業名		ワイン用ぶどう生産支援事業				電話	0268-25-7126		
						E-mail	ueda-nogyo@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	「世界基準を見据えたワイン産地」の早期実現に向け、農業分野から、原料用ぶどうの品質や生産量の更なる向上を図るため、これに寄与できる栽培技術の普及・定着や栽培者間の情報交換を促進する。							
	現状と課題	【現状】 管内のワイン用ぶどう栽培面積(125ha)及びワイナリー(18施設)は順調に増加している。また県里親研修事業(令和5～6年度)を活用している就農希望者(現在、研修生)が2名いるなど、今後も当管内での栽培の拡大が予想される。 【課題】 栽培者は農業未経験者が多く、技術的に不安定で相互に情報共有する場も少ない。また、収益性が低く、1ha以上の栽培者で管理不足のほ場が多く見受けられる。「ワインを基幹産業に」の実現に当たっては栽培者の技術等を高め、経営安定かつ醸造先から期待される質と量の向上が重要である。今後は、“環境負荷低減”を意識した栽培方法の導入も必要となってくる。							
	内容 (変更後の内容)	1 栽培技術の向上と交流促進 生産者の栽培技術向上や交流の促進を図るため、ワイン用ぶどう栽培者を対象に、生産者技術セミナーを開催する。[2月] 2 スマート農業の普及実証 防除作業の負担軽減等が期待できるドローン等による農薬散布の実演会を実施する。[5月～8月] 3 脱炭素社会に向けた取組を推進 ぶどう剪定枝を炭化し土壌貯留する取組の実演。土づくりや“炭素貯留”によるブランド化の有効性を検討する。[12月～3月]							
	事業期間	令和6年(2024年)5月 ～ 令和7年(2025年)3月							
事業費等	(単位:円)								
	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考		
	生産者技術セミナー開催		研修会・情報交換会の開催		100,000		報償費:40,000円、旅費:20,000円 会場等使用料:40,000円		
	スマート農業実演会		無人散布車等の実演		10,000		ほ場使用料:10,000円		
	ゼロカーボン意識醸成		無煙炭化器の実演		10,000		ほ場使用料:10,000円		
		合 計		120,000					
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況	
	生産者技術セミナー参加者数の増加(R5:24名)			27名				○ 達成	
	アンケート結果における次回参加意向割合(R5:94%)			97%				○ 一部達成	
								● 未達成	